

# よつくら通信

文責；いわき市立四倉小学校長 小川幸一

## 新学習指導要領の概要 「主体的・対話的で深い学び」の創造

小学校では平成32年度、中学校では平成33年度から新しい学習指導要領に基づく学習指導が展開されます。これに伴い、平成30,31年度はこれへの移行期間としての指導が、内容の変更や追加を伴い実施されます。

今回の改訂のテーマは、「主体的・対話的で深い学び」となっており、これは、何ができるようになるかを明確化し、知識の理解の質を高め資質・能力をはぐくむことに重点が置かれます。

このための3つの柱は、1 知識及び技能 2 思考力、判断力、表現力等 3 学びに向かう力、人間性等 とされています。

つまり、知識及び技能を確実に身につけ、他と協調しながらこれを基に考え、判断し、そして自分の考えを表現しながら問題を解決する。そして、更なる新しい問題解決に当たるたくましさを育てるというものです。

そのための改善事項として次の内容が重視されます。

- 1 言語事項の確実な育成；語彙の確実な習得、情報を正確に理解して適切に発表や作文で表現する、書く活動の重視
- 2 理数教育の充実；必要なデータを収集・分析し課題を解決する
- 3 伝統や文化に関する教育の充実；古典やわが国の言語文化、文化財や年中行事の理解等
- 4 道徳教育の充実；「特別の教科 道徳」の新設 多面的に考えたり議論したりする道徳教育
- 5 体験活動の重視；他者との協働の重要性を実感する体験活動
- 6 外国語教育の充実；3・4年生年間15時間、5・6年生年間50時間の学習 15時間増

これから求められる力は、情報（文章、会話、現象等）を正確に理解し、これまで身につけた知識や技能を用いて多面的に考え、判断し問題を解決する能力とともに、自己の主張を根拠を明らかにしながら正確に伝える力であると言えます。

次の問題は、今年の5年生が行った福島県学力テストの問題です。普段から本や新聞を読んだり、文章を書いたりすることをしていないと抵抗があるかもしれません。

取材メモをもとに、新聞に載せる文章を次の点に注意して書く。

○田中さんが出場した大会  
 ・大会名：よつくら市小学生マラソン大会  
 ・行われた日：十月七日（土）  
 ・行われた場所：中央公園  
 ・結果：三位（出場した人は、四十五人）  
 ○田中さんの話  
 「三位にはなれただけ、ゆう勝しかった。」  
 「もっと体力をつけたい。」

取材メモ

### ＜新聞の切り取り＞

- ① 11月の盛況に合わせ、輪やましましやう。
- ② 11月の盛況にせ、「こつ」「どつで」「だれが」「どつした(何をした)」のかを輪やましましやう。
- ③ 11月の盛況には、田中さんの話とそれを聞いた感想、そして新聞係として田中さんにかける言葉を輪やましましやう。
- ④ くらから十行の題(1日1字から、1100字の題)を輪やましましやう。

# 中高生 読解力に不安

## 主語と述語が苦手

### 読解力調査の内容の一部

■以下の文を読みなさい。

幕府は、1639年、ポルトガル人を追放し、大名には沿岸の警備を命じた。

(東京書籍 中学校社会科教科書を基に作問)

上記の文が表す内容と以下の文が表す内容は同じか。「同じである」「異なる」のうちから答えなさい。

1639年、ポルトガル人は追放され、幕府は大名から沿岸の警備を命じられた。

<input type="checkbox"/> 同じである	<input checked="" type="checkbox"/> 異なる	<b>正答</b>
中学生 約43%	高校生 約28%	中学生 約57% 高校生 約72%

主語と述語の関係といった「係の受け」など、文章の基本的な構造を理解できていない中高生が多く見つかることが、国立情報学研究所の新井紀子教授の研究チームによる調査で27日までに分かった。新井教授は「読解力が十分だと社会生活を送る上でも大きな影響が出る」と懸念している。

調査は、016年4月～17年7月、中高生を中心とした約2万5千人を対象に実施。中高生の教科書や辞典、新聞記事などに掲載された文章を題材に特別

似た文章の意味を比喩た出題では、幕府は、1639年、ポルトガル人を追放し、大名は沿岸の警備を命じた」と中学校教科書の一文を引用。「1639年ポルトガル人は追放され、幕府は大名から沿岸の警備を命じた」と同じ意味かどうかを尋ねた。「同じ」と誤答した中学生は約43%を占め、高校生でも約38%が間違えた。ほとんどの中学校教科書から引用

な知識がなくても、基礎的な文法を踏まえていけば答えられるようにした問題を出した。

家庭の経済状況関係が調査では、中高生に1カ月間読んだ本の数やスマートフォン利用時間、1日の勉強時間など生活状況も尋ねながら、読解力との明らかな相関は見られなかった。一方、経済的に困難な家庭に学用品などを補助する就学援助を受けている子どもの割合が多い学校の正答率が、相対的に低いことも分かった。

新井教授は近年人工知能AIの情報処理能力が大きく進歩していることに触れ「将来仕事を奪われまいよにするためにも、子どもの読解力の底上げにつながる支援が必要だと話している」。

した「仏教は東南アジア、東アジアに、キリスト教はヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニアに、イスラム教は北アフリカ、西アジア、中央アジア、東南アジアにおもに広がっている」を読み、オセアニアに広がっている宗教を「キリスト教」と答えられなかった中学生は約38%、高校生は約28%だった。

(福島民有新聞 11月28日版)

上の記事は、読解力の現状と危機感を記したものです。普段から、主語と述語、5W1H(いつ、だれが、なにを、どのように、どうした)をしっかりと意識した会話や文章記述を心がけることの大切さを痛感させられます。

## 12月の行事

- |   |                           |
|---|---------------------------|
| 5日(火) 集金日(低) 学力向上面談 下校 13:45<br>6年生 TV 電話によるアチェとの交流 | 13日(水) 学力向上面談 下校 13:45    |
| 6日(水) 集金日(中) 学力向上面談 下校 13:45                        | 14日(木) 登校班話合い 2・3年5校時限    |
| 7日(木) 集金日(高) 学力向上面談 下校 13:45                        | 20日(水) 3年5校時限             |
| 10日(日)～1/7 年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動                      | 21日(木) 2・3年5校時限           |
| 12日(火) 4年生シニア体験学習<br>学力向上面談 下校 13:45                | 22日(金) 第2学期終業式 下校 11:30   |
|   | <b>23日(土) 天皇誕生日</b>       |
|   | <b>24日(日) 冬休み (~1月8日)</b> |

<心の教育相談員来校日>

5・8・11・13・18・20日

<学校司書来校日>

1・7・8・15日

## PTAバザーへのご協力 ありがとうございました

11日(土)にPTAバザーが行われ、たくさんの保護者や地域の方々にご来校いただきました。当日は、ご寄附によって集められた品物の物品販売、くじ、手作りお菓子、揚げたこ焼き、焼きそば、フランクフルト、カキ氷、チョコバナナジュース他、五目ごはん他、野菜の様々なコーナーがあり、各コーナーは大忙しでした。当日は私事で参加できなかったのが非常に残念ですが、盛況振りをうれしく思うのと同時に、これまでの役員はじめ担当された保護者の皆様のご尽力に深く感謝します。

約31万円もの収益があったようで、これらを子ども達のために支出していくということでさらに感謝に耐えません。本当にご苦勞様でした。そして、ありがとうございました。